

議会運営委員会・議会活動活性化委員会 合同視察報告書

令和7年11月10日（月）～11月11日（火）

山ノ内町・佐久市・小諸市

議会活動活性化委員会

議会運営委員会副委員長 白鳥真吾

1 山ノ内町議会

「予算決算審査委員会の運用について。広報委員会の常任委員会化について」

平成29年3月議会までは特別委員会として運用されていた。毎回、動議を出して特別委員会の設置を決めるのであるなら常設の委員かとするのではよいのではないかという議長諮問により常任委員会となった。

議長を除く全議員でこうされているが、2つある常任委員会がそれぞれの部会となり審査をしているので分割審査と変わりはないのではないかと感じた。全体委員会会議でさらに検討を行っている点については箕輪町議会でも導入をしてもよいのではないかと感じた。

予算・決算審査では部会意見をつけることができ、町側はその意見に対して現状報告を行っている。政策について継続的に検証などができるのではないかと感じた。箕輪町議会でも現状の委員会運営の中でできるのではないかと思う。

2 佐久市議会

「議員報酬の引き上げについて。議会BCPの策定について」

・議員報酬引き上げについて

議員報酬引き上げについて、議会内での検討委員会を立ち上げ議員間討議や研修会を行うだけではなく、市民との意見交換会などを行い市民の声を反映しながら時間をかけて行われていた。住民の声を聞きながら進めていた点については今後の報酬引き上げを検討する中では重要であると思う。住民と進めることで議会が身近になるのではないかと感じた。

・議会BCP策定について

災害時において議会や議員がどのように行動するのか、被害の収集についてなど定めてい必要があると感じた。箕輪町議会でも策定について検討をする必要がある。策定により議会機能の早期回復ができ、災害復旧が早期に進むことができるのではないかと感じた。

3 小諸市議会

「議員報酬の引き上げについて」

任期ごとに住民などの意見を聞きながら議員定数や報酬について検討すことが議会基本条例に定められており、そのときの情勢などで判断ができるのではないかと感じた。佐久市議会と同様、議会内だけの検討だけではなく住民の声を聞いて進められていた。住民説明会やアンケートだけではなく、パブリックコメントを行い声を集めていたことを知ることができた。パブリックコメントとを集めることにより、議会・議員活動がどのように見えているのか、住民がどんな思いなどを持っているのか知ることができ、議会にあってもよいことだと感じた。佐久・小諸両議会とも丁寧に進められていると感じた。

全体を通じて

- ・予算・決算審査は議会活動において重要な部分であり審査についてどのようにしていくのか、これまでの慣習などもありどの部分について変えていくのか検討することが大事であると感じた。現行の中でできることもあり、町議会でも導入することもあるのではないかと思う。
- ・議員報酬については住民の皆さんとの声を聞くということが大事であることを感じた。時間をかけて丁寧に進めていくことも大事である。住民に議会・議員活動について知っていたらしくという点においても大事なことであると思いました。